2026年11月13日

各　　位

会社名　株式会社サンゲツ
代表者名　代表取締役社長執行役員　近藤康正
（コード番号 8130 東証プライム・名証プレミア）
問合せ先　執行役員ｺｰﾎﾟﾚｰﾄ部門ゼネラルマネージャー　山下栄二
（ＴＥＬ．052－564－3314 ）

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2026年５月13日に公表しました2027年３月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

１．通期連結業績予想の修正について

2027年３月期　通期連結業績予想数値の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（Ａ）	213,000	19,000	19,200	13,500	229.62
今回修正予想（Ｂ）	217,000	21,500	22,200	16,000	272.10
増減額（Ｂ－Ａ）	4,000	2,500	3,000	2,500	－
増減率（％）	1.9	13.2	15.6	18.5	－
（ご参考）前期実績（2026年３月期）	206,441	19,408	20,152	14,642	249.08

２．修正の理由

当中間連結会計期間における当社グループの連結業績につきましては、本日公表の「2027年３月期 第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)」のとおり、主力となる国内インテリアセグメントにおいて、中東情勢の緊迫化など外部環境が大きく変化する中、原油やナフサ等の粗原料価格の高騰に連動した調達・物流コストの上昇が顕在化しました。そのような中、商品の安定供給や各市場におけるきめ細かな営業活動に努めたほか、本年７月に商品価格改定を実施したことや、仕入先工場の火災事故に伴う供給制約の解消が進んだことが、全体の業績を牽引しました。さらに、特別利益に助成金収入や退職給付制度終了益等を計上したことも寄与した結果、売上高および各利益につきましては、いずれも前回公表時（2026年５月13日公表）の通期連結業績予想に対して堅調に進捗しております。

通期の連結業績予想につきましては、前回公表時に織り込んでいない中東情勢に起因する影響や本年７月に実施した価格改定の浸透等の見通しを勘案した上で、業績予想の見直しを行った結果、前回公表数値を上方修正することといたしました。詳細につきましては、本日公表の「2027年３月期 第２四半期（中間期）決算補足説明資料」をご覧ください。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、不確実な要素が含まれ変動する可能性を有しております。従いまして、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以　上